

亜くろいし 市議会だより

第3号

平成25年
12月1日発行

9月定例会

発行：黒石市議会 〒036-0396 青森県黒石市大字市ノ町1 1番地1号 TEL 0172-52-2129 FAX 0172-53-7410
ホームページ http://www.city.kuroishi.aomori.jp/City_Assembly/CA_Menu.html

目次

- 議会の概要..... 2
- 議案一覧..... 3
- 市政に対する一般質問..... 4～7
- 議会からのお知らせ..... 8

平成25年第3回定例会の概要

平成 25 年第 3 回定例会は、9 月 4 日から 9 月 18 日までの 15 日間にわたって開かれ、市長提出の 7 報告・35 議案の 42 議案、議員提出の 2 議案を、いずれも原案どおり承認・報告・認定・可決・同意いたしました。

また、9 月 4 日に全議員で構成される決算特別委員会が設置され、委員長に今井敬委員、副委員長に黒石ナナ子委員を選任し、平成 24 年度一般会計、平成 24 年度各特別会計、平成 24 年度各財産区会計、平成 24 年度各事業会計、及び平成 25 年度黒石地区消防事務組合一般会計歳入歳出決算認定について審査を行いました。

各議案の議決結果と各会派の賛否一覧は次のページ（3 ページ）をご覧ください。

平成 24 年度黒石市一般会計歳入歳出決算認定 討論

反 対 討 論

いろいろな堅実な予算の中で財政再建に取り組んできているということには一定の評価はしつつも、反対する理由の 1 つは、地域要望への対応は財政が困難だからという答弁ではなく、市民に向けてきちんと対応すべきであること。

2 つ目は、職員を減らしているために、手が回らない、行き届かないという現実があること。

3 つ目は、いろいろな事業のときどきの分析・評価が弱いし、市民にも公表されていないこと。

4 つ目は、経済効果や市民の懐がプラスになる市独自の住宅リフォーム助成制度もいまだ制度化されていないこと。

以上の理由から決算に反対するものであります。

賛 成 討 論

平成 24 年度は 2 年連続の豪雪により多額の支出を余儀なくされたにもかかわらず、実質収支額は 3 億 6,467 万 5,000 円の黒字であり、財政調整基金の取り崩し 2 億 5,000 万円を差し引いても黒字であることは収支均衡した堅実な予算と節度ある執行の結果であります。

市の大きな課題である財政健全化についても計画を後退させることなく取り組み、その成果が出てきていることは大いに評価に値するものであります。

各施策についても限られた財源で効果的かつ効率的に展開していると認められることから決算認定に賛成するものであります。

この他にも「平成 24 年度黒石市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について」、「平成 24 年度黒石市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について」及び「黒石市子ども・子育て会議条例制定について」においても、反対・賛成討論がありました。

第 3 回定例会の報告と各会派の賛否一覧

(○は賛成、●は反対)

番 号	件 名	会 派 名	自民・公明 ク ラ ブ 10 人	黒石市民 ク ラ ブ 5 人	日 本 共 産 党 1 人	議決結果
報告第 25 号	平成 25 年度黒石市一般会計補正予算 (第 3 号) について		○	○	○	承認
報告第 26 号	平成 25 年度黒石市観光施設事業特別会計補正予算 (第 1 号) について		○	○	○	承認
報告第 27 号	黒石市観光施設事業特別会計経営健全化計画の完了について		○	○	○	報告
報告第 28 号	平成 24 年度における黒石市温泉供給事業特別会計経営健全化計画の実施状況について		○	○	○	報告
報告第 29 号	黒石市下水道事業会計経営健全化計画の完了について		○	○	○	報告
報告第 30 号	黒石市財政の平成 24 年度決算に基づく健全化判断比率について		○	○	○	報告
報告第 31 号	黒石市公営企業の平成 24 年度決算に基づく資金不足比率について		○	○	○	報告

第 3 回定例会の議決結果と各会派の賛否一覧

(○は賛成、●は反対)

番 号	件 名	会 派 名	自民・公明 ク ラ ブ 10人	黒石市民 ク ラ ブ 5人	日 本 共 産 党 1人	議決結果
議案第61号	平成24年度黒石市一般会計歳入歳出決算認定について		○	○	●	認 定 (起立多数)
議案第62号	平成24年度黒石市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について		○	○	●	認 定 (起立多数)
議案第63号	平成24年度黒石市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について		○	○	○	認 定
議案第64号	平成24年度黒石市姥懐霊園墓地特別会計歳入歳出決算認定について		○	○	○	認 定
議案第65号	平成24年度黒石市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について		○	○	●	認 定 (起立多数)
議案第66号	平成24年度黒石市観光施設事業特別会計歳入歳出決算認定について		○	○	○	認 定
議案第67号	平成24年度黒石市簡易水道特別会計歳入歳出決算認定について		○	○	○	認 定
議案第68号	平成24年度黒石市温泉供給事業特別会計歳入歳出決算認定について		○	○	○	認 定
議案第69号	平成24年度黒石市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について		○	○	○	認 定
議案第70号	平成24年度黒石市土地取得特別会計歳入歳出決算認定について		○	○	○	認 定
議案第71号	平成24年度黒石市中川財産区会計歳入歳出決算認定について		○	○	○	認 定
議案第72号	平成24年度黒石市上十川財産区会計歳入歳出決算認定について		○	○	○	認 定
議案第73号	平成24年度黒石市追子野木財産区会計歳入歳出決算認定について		○	○	○	認 定
議案第74号	平成24年度黒石市温湯財産区会計歳入歳出決算認定について		○	○	○	認 定
議案第75号	平成24年度黒石市袋財産区会計歳入歳出決算認定について		○	○	○	認 定
議案第76号	平成24年度黒石市国民健康保険黒石病院事業会計決算認定について		○	○	○	認 定
議案第77号	平成24年度黒石市水道事業会計決算認定について		○	○	○	認 定
議案第78号	平成24年度黒石市下水道事業会計決算認定について		○	○	○	認 定
議案第79号	平成25年度黒石地区消防事務組合一般会計歳入歳出決算認定について		○	○	○	認 定
議案第80号	黒石市子ども・子育て会議条例制定について		○	○	●	原案可決 (起立多数)
議案第81号	黒石市職員定数条例の一部を改正する条例制定について		○	○	○	原案可決
議案第82号	黒石市税外諸収入滞納金督促手数料及び延滞金徴収条例の一部を改正する条例制定について		○	○	○	原案可決
議案第83号	黒石市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例制定について		○	○	○	原案可決
議案第84号	財産の取得について		○	○	○	原案可決
議案第85号	黒石市土地開発公社の解散について		○	○	○	原案可決
議案第86号	第三セクター等改革推進債の起債に係る許可申請について		○	○	○	原案可決
議案第87号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		○	○	○	同 意
議案第88号	平成25年度黒石市一般会計補正予算(第4号)		○	○	○	原案可決
議案第89号	平成25年度黒石市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	原案可決
議案第90号	平成25年度黒石市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	原案可決
議案第91号	平成25年度黒石市介護保険特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	原案可決
議案第92号	平成25年度黒石市観光施設事業特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	原案可決
議案第93号	平成25年度黒石市簡易水道特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	原案可決
議案第94号	平成25年度黒石市温泉供給事業特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	原案可決
議案第95号	平成25年度黒石市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	原案可決
議員提出議案第4号	地方税財源の充実確保を求める意見書の提出について		○	○	○	原案可決
議員提出議案第5号	「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書の提出について		○	○	○	原案可決

平成 25 年第 3 回定例会一般質問

市政を問う

一般質問は 9 月 10 日、11 日の 2 日間行われ、12 人の議員が市の諸問題についての質問をしました。



問 幻の県道探索ハイキング事業に対する行政支援について、また各事業・団体に対する助成金を含めた行政支援について。

答 六郷地区振興協議会には、各種助成事業の活用等で支援してまいります。また、幻の県道ハイキングコースは、その名のとおり県道でありますが、当市の黒森山のふもとと自然の道ハイキングコースとも重なる部分もあります。今後は県や関係各課、六郷地区振興協議会との連携を図り、入山者の安全面を考慮していくほか、ハイキングコースへ支援を検討して

まいります。また、各事業・団体に対する助成金にかかる行政支援については、現段階では明言できませんが、今後の検討課題とさせていただきます。

問 寄贈品や黒石市所蔵の美術品・工芸品・歴史的資料等の管理状況、管理規定および専門職員の配置計画について。

答 寄贈された市所有の美術品については、庁舎関係の絵画など 28 点や数多くのこけしがありませんが、紛失や所在不明となったものはありません。管理については、各担当課が寄附採納綴り等で整理しておりますが、管理規定は設けておりません。今後は、財務規則の遵守の徹底と、管理規定等の策定・データベース化などの検討をしてまいります。また、将来的には専門職員の配置が必要であると認識しております。



自民・公明クラブ
おおくぼ ともやす
大久保 朝泰 議員



問 黒石ねぶた祭りは、青年会議所が主催し囃子の講習会なども着実に毎年開催されており、後継者育成に効果を上げている。ねぶたの製作や運行に費用が伴い負担となっており、補助金を増額するなどの対策は。

答 人形ねぶたの参加団体への追加支援は意向調査などを行い、検討いたします。

問 黒石よされの参加者の増加や、観光客の増加を考慮に入れ、後



自民・公明クラブ
くろいし ななこ
黒石 ナナ子 議員

継者育成のために、市内児童生徒の授業の一環として、よされの習得と祭りへの積極的な参加の検討は。

答 学校、地域の実情を考えながら検討いたします。

問 盛況を博している「クラシックカーインこみせ」、旧松の湯など、こみせの整備と合わせ、まちづくりに向けてどのような展開を想定しているのか。市の未来図をどのように描いているか。

答 景観整備計画のひとつとして鳴海醸造店から旧松の湯まで 150 メートルの電線類地中化を計画しています。埋設管の移設、管路の地中埋設、電線類の移設や電柱の撤去に向けて、関係機関と調整に入る予定です。再度、こみせ再生の補助制度を説明いたします。



自民・公明クラブ
くどう としひろ
工藤 俊広 議員

問 期日前投票での投票用紙の配布を通常の投票と同様に改善すべきであると思つ。投票会場についても4階から高齢者や障害者の方に配慮し改善を図るべきであると思つがどうか。

答 期日前における投票用紙の配布は、投票日と同じように改善をします。投票会場についても高齢者、障害者の方に配慮する形で改善に向けて検討いたします。



問 災害時要援護者の避難対策について。国の法改正が行われている。名簿作成の義務化や、避難対策の詳細な

行動計画は出来ているのかどうか。

答 黒石市はこれまでも要援護者対策には力を入れて取り組んできています。国の法改正についてもすでに対応しています。先進的な取り組みとして要援護者を地図上で確認ができれば、マップシステムの導入をしています。さらに今回の補正予算で備蓄品の充実を図るよう予算提出しているところです。

問 健康診断や健康増進活動でポイントが貯まり地域活性化にも効果の期待できる健康マイレージの導入を検討してはどうか。

答 健康増進や地域活性化に効果が期待でき導入している自治体もあります。財政的なこともありますが、前向きに検討してまいります。



自民・公明クラブ
おおみぞ まさあき
大溝 雅昭 議員

問 黒石のスポーツの歴史、選手に光を当てて、紹介してはどうか。

答 市のホームページに本市出身のトップ選手や、市民が応援できる環境をつくるなど、スポーツによるまちづくりと情報発信をしてはどうか。



問 市出身のトップ選手を、市民が応援できる環境をつくるなど、スポーツによるまちづくりと情報発信をしてはどうか。

によるまちづくりの活性化に取り組んでいきます。

問 急に増えたカラスの行動をどう把握しているのか。また、捕獲駆除への取り組みをどう考えているか。

答 カラスの個体数は9月2日には5地点で1200羽を確認しました。箱わな設置など検討いたします。

問 流雪溝、融雪溝の整備計画はどうなっているか。また、夏場の悪臭対策は。

答 24年度末で延長29・1キロの整備を完了。未整備5路線、延長3キロを順次整備していきます。夏場の一時的な通水について条件や手法の確認を行い検討してまいります。



自民・公明クラブ
いまい たかし
今井 敬 議員

問 地区要望の中で県や土地改良区などへの要望についての回答を市民へ説明しているか。また、千歳橋から新千歳橋までの歩道に街灯がない。小・中学生や高齢者から危険と指摘され防犯上、至急取り付けが必要だと思つがどうか。

答 今後は各機関からの回答が得られ次第各地区協議会に回答したい。また、街灯設置要望は6年前から出ていることから、防犯対策上危険重点箇所から、川側約600メートルに風力太陽光発電ハイブリット型LED街路灯も考慮し早期に検討します。

問 若者の投票率が低い。市政参画のため審議会などへ若者の登用をもっと増やすべきと思われるがどうか。

答 若者の政治離れが進んでいると認識して

います。市政に関心の薄い若者に対する施策も課題だと思っています。青年の団体、サークルが極端に少なく若者の市政参加を高めていく手法を検討してみたい。

問 県の無形民俗文化財指定の「大川原火流し」は、年々観光客が増えており、国の重要文化財をめざし予算も含め、市のバックアップ体制の強化が必要と思つがどうか。

答 観光客22年800人、23年900人、24年1000人、25年2000人と増加しており、市は直接関与していませんが、よされ実行委員会を通して今後どのような対策が可能かどうか検討します。



大川原の火流し



自民・公明クラブ
くどう かずゆき
工藤 和行 議員

問 行財政運営方針の達成状況について。

答 24年度決算結果は、一般会計で実質収支3億6千万円と5年連続の黒字で、健全化判断比率も報告になったところだが、20年策定の方針で示した収支見込、健全化判断比率見込に対し、改善が進んだ要因・理由は。

答 実質収支については、職員給与の削減をはじめとする歳出削減策、地方交付税の確保、20・23年度の地域活性化交付金により少ない負担で事業が実施できたこと等によりです。

連結実質収支は、一般会計からの繰出し増強、企業会計の経営努力、病院事業会計、下水道事業会計で解消可能資金不足額の算定が可能になったことによりです。実質公債費比率は20年度から約7億円の繰上げ償還を行い減少、将来負担比率は

起債残高の減少に伴い低下しました。

問 財政運営計画の見直しについて。

答 方針では、地方公共団体財政健全化法の施行に伴い連結決算で財政運営計画を策定したところ。5年が経過し東日本大震災等社会情勢が大きく変化した。当時の計画では22年度以降の実質収支は赤字で、基金の取崩しで対応するとしていたが、一般会計は5年連続の黒字である。計画の見直しはどのようにしているのか。

答 20年度に5カ年計画を策定し毎年見直し修正しています。29年度まで延長した現在の計画でも27年度までは実質収支は単年度赤字で基金の取崩しで対応します。28年度以降は下水道事業会計への繰出しの減、公債費の減等で単年度の黒字を想定しています。



黒石市民クラブ
ささき かつき
佐々木 隆 議員

問 黒石よされの観光客及び参加者の増減は。減少傾向にあるとすれば今後の対策は。

答 観光客の入込数は天候の関係もあり3600人程の減となっています。参加者は300人の増となっています。黒石よされは本市の最大の祭りであるとともに観光客の誘客に

必要であるため、今後実行委員会と協議していきます。

問 企業誘致や本市の売込みのため、都市部に事務所を置く考えはな

答 本市の現状では難しいが、県の東京事務所や名古屋事務所等の職員を通じPR活動に努めてまいります。



黒石市民クラブ
くどう かずこ
工藤 和子 議員

問 中心市街地における空き店舗の数と対策は。

答 平成24年に横町、中町、前町、一番町通りを調査した結果47店舗ありました。対策としては、新規に出店する店舗の賃借料を一部助成する「中心商店街空き店舗出店促進事業」を継続し解消を図ってまいります。

問 地元商店街で、やる気のある人づくり(人材育成)をどのように考えているのか。

答 昨年、商店街の若者を中心に自ら「横町十文字まちそだて会」を設立しました。地元の魅力を発見するための勉強会や観光客等と交流することにより滞留時間の延伸を図るための独自の事業展開をしており、個々の



黒石市民クラブ
やまだ こういち
山田 鉦一 議員

問 本市の耕作放棄地の現状(面積・場所・意向調査の結果)は。

答 耕作放棄地は中山間地に約300ヘクタール。対象者223戸の内、耕作の予定6戸、譲渡を希望55戸、貸付を希望18戸、現状のまま48戸となっています。

問 今後の放棄地解消に向けた対策は。

答 国の交付金を活用

し、今年度は約6ヘクタールの解消を予定しています。第3期中山間地域等直接支払制度で耕作放棄地の発生防止に一役を担っています。農地中間管理機構に期待し、努力していきます。

問 放棄地解消に薬草栽培を検討してはどうか。

答 他県において、実例が開始しているので情報を収集してまいります。

能力向上のため日々研さんに努めています。

問 平成25年度地区要望・提言への回答方法は。道路施設の管理体制・点検及び側溝や舗装工事の実施箇所の選定はどのようにしているのか。他機関に対する要望の協議結果は示せないのか。県道畑中・竹鼻線バイパス計画の進展は。

答 今年度は、実施できない場合の理由や今後の計画などができる限り記載し、懇切丁寧に回答したいと考えています。

道路施設は、パトロール等を実施し、危険箇所があった場合は、応急措置を行います。側溝工事等につきましては、地区要望の優先順位や緊急性、効果などを判断し、整備地区が偏らないように配慮しています。また、県等の他機関への要望については、各機関から回答が得られた時点で、地区協議会へ結果を回答します。県道畑中・竹鼻バイパスについては、県で着手について前向きに検討するとうかがっています。



黒石市民クラブ

ふくし ゆきお
福士 幸雄 議員

問 今年8月30日より気象庁から「特別警報」が発令されることになったが、市民にどのようにならぬか、また、避難する時間がない時の対応策は。

答 防災行政無線や広報車、携帯電話の緊急速報など、あらゆる手段で市民に迅速、確実に伝達することとしています。今後、特別警報の運用に当たっては、国や県の方針を踏まえ、現在修正作業を進めている黒石市地域防災計画や避難勧告等の発令基準に反映させることとしています。



問 本市の集団検診の受診率向上に向けてアミノインデックス検査を取り入れる考えはないか。

答 がん検診は、国の

「がん検診実施のための指針」で定められた検査方法に基づき、実施することとされています。アミノインデックス検査は、国の指針には含まれていないため実施しても正式ながん検診として認められないものと考えます。このことから、がん検診をアミノインデックス検査に変更することは、考えておりません。ただ、アミノインデックス検査はがん検診のスクリーニングとしては、大変有効であることから、黒石病院と連携しながらPRに努めていきたいと考えております。

問 税の滞納整理機構に対する黒石市の移管数、徴収実績はどうか。

答 移管件数は94件で、延滞金等を含めて2億7869万円に上ります。滞納整理機構で徴収した金額は、2187万円でした。徴収した金額から負担金を差し引いた1958万円ほどの効果があったといえると思います。



日本共産党

くどう てつこ
工藤 禎子 議員

問 青森県は平均寿命全国最下位。喫煙率・多量飲酒はワースト一位。肥満率・野菜不足もワースト上位となっている。検診の受診率向上策は。保健協力員や食生活改善推進員の協力で食事のバランスや減塩の取り組み強化を。

答 受診率は当面の目標を40%とし、今年度は集団検診受診票の簡素化を図り、待ち時間の短縮や検査票の事前配布や、保健協力員からの呼びかけ回数を増やします。食生活改善推進委員会で作成している家庭で簡単にできる60種類以上のヘルシーメニューをホームページに掲載してありますが、それだけではなく、工夫して市民の食生活改善に広く活用できるようにしたいと考えております。

問 選挙事務の改善と充実については期日前投票所を産業会館一階ホールにしては。障がい者や高齢者の方が投票に行きやすい環境を整えるべきでは。投票所の増設を。投票立会人に女性層や青年層の積極的選任を。

答 期日前投票所は、投票する人の便宜を考慮し、選挙管理委員会以外の場所も含めて検討したい。投票所の設備や利便性、介助の準備など広く周知したい。選挙に関わる経費及び人員確保の問題もあり、今後の検討課題としたい。立会人も高齢化が進んでおり、若者の投票率の向上に効果があれば検討したいと考えています。

問 地区要望の黒石小学校から砂森町内に至る道路の拡幅や千歳橋から新千歳橋までの街灯設置はなぜ延ばしているのか。地区要望への行政の対応としては財政難とかたづけられるのではなく、年度の目標や長期プランに載せて回答すべきでは。

答 市が取得した旧農林総合研究センター跡地を利用し、拡幅できるように今回の補正予算で計上し、千歳橋間の街灯は風力太陽光ハイブリット型LED街路灯も考慮し、早期に検討したいと考えています。また、実施できない要望には、その理由等をできる限り記載し、懇切丁寧に回答するよう努めていきます。

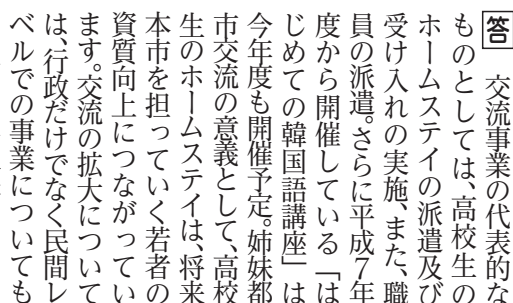
問 空き家対策について。

問 空き家対策について。

答 市内全域の空き家の数は、把握していないが、倒壊の恐れや屋根雪の落下などによる危険性がある建物は46件を確認しています。豪雪により損壊した建物は2年間で23件。近隣住民に危険を及ぼし防犯上問題となりうる空き家対策については、建物の所有者へ適切な管理を要請し、看板設置により危険箇所であることを周知しています。条例制定については、国の動向を注視しながら検討していきます。

問 交流事業の代表的なものとしては、高校生のホームステイの派遣及び受け入れの実施、また、職員の派遣。さらに平成7年度から開催している「はじめての韓国語講座」は今年度も開催予定。姉妹都市交流の意義として、高校生を担っていく若者の資質向上につながると思います。交流の拡大については、行政だけでなく民間レベルでの事業についてもその可能性を検討します。

問 ねぶた祭りとの黒石よさねについて。



問 姉妹都市大韓民国永川市との30周年のイベントと交流事業について。

答 市内全域の空き家の数は、把握していないが、倒壊の恐れや屋根雪の落下などによる危険性がある建物は46件を確認しています。豪雪により損壊した建物は2年間で23件。近隣住民に危険を及ぼし防犯上問題となりうる空き家対策については、建物の所有者へ適切な管理を要請し、看板設置により危険箇所であることを周知しています。条例制定については、国の動向を注視しながら検討していきます。



自民・公明クラブ

なかた ひろふみ
中田 博文 議員

台風18号災害現場視察



9月15日から16日にかけて日本列島を縦断した台風18号により、本市にも多数の被害が発生しました。9月19日(木)黒石市議会では鳴海市長らと一緒に被災地5か所を視察しました。被害状況報告を受けながら、担当課に対応について説明を受けました。

黒石市議会議員研修会

10月7日午後2時から、アップルパレス青森(青森市)にて「青森県市議会議員研修会」が開催されました。黒石市議会議員は14名参加しました。

明治大学政治経済学部教授の牛山久二彦氏が「分権時代における自治体議会の役割と使命」と題して講演されました。

牛山氏は、議会は何を改革すべきかと具体的に話され、(1)議会制度の改革(2)議会運営方法の改革(3)自治立法のあり方改革(4)行政チェック強化の改革(5)議会議員の意識改革の大きく5点問題を提起し、分権時代だからこそ議員がしっかりしなくてはと強調されました。

また、議会基本条例の論点にも触れ、基本条例を策定中の黒石市議会にとっても学ぶことが多い一日でした。

黒石市・宮古市姉妹都市議会議員交流会

去る10月22日・23日と、2年ぶりに村上議長他13名が、宮古市を訪問いたしました。山本宮古市長、前川宮古市議会議員ほか22名の宮古市議会議員の歓迎を受けました。

22日の講演会では「宮古市の復興に向けた取り組み」再生可能エネルギープロジェクトについてと題し、宮古市総務企画部復興推進課滝澤課長を講師に講演を受け、「議会活動報告情報交換会」では議会基本条例について活発な意見交換が行われました。



西十和田トンネル(仮称)早期着工要望に係る勉強会開催

国道454号線は大鰐町から平川市小国地区の国道102号に重なり、温川地区、秋田県の十和田湖滝ノ沢を経て八戸市に至る大部分が山岳の道路で冬期間は閉鎖となる国道です。村上啓二議長は今年9月24日、公務として理事を務める国道454号整備促進期成同盟会において行われた冬季閉鎖解消のための西十和田トンネル(仮称)早期着工についての秋田県鹿角地域振興局に対する要望活動に出席しました。今回の要望に対する鹿角地域振興局からの回答は「今のところトンネル建設の計画はない」とのことでしたが、村上啓二議長はこの陳情が遅々として進んでいない状況を黒石市議会各派代表者会議で報告し問題提起をしました。このことについて市議会は11月6日に議員全員による十和田トンネル(仮称)建設関係に係る勉強会を開催しました。

市の企画課及び建設課よりこれまでの要望経緯等の説明を受け、平成4年の期成同盟会設立当時から20年余りの陳情活動にも関わらずトンネル建設の計画がなかなか進んでいないことなどの説明がありました。

各議員からは「トンネル建設要望については市議会として積極的に市当局を後押しするべき」という多くの意見や「トンネル建設に対する市議会の今後の関与についてはまだどちらともいえない」といった意見などが出され、市議会は今後もこの問題について取り組んでいくことになりました。



翌23日は、復興中の市内や新設されたビクターセンター、復活した浄土ヶ浜等を視察しました。山本宮古市長から、「黒石こけし灯ろうの明かりに、市民が元気をいただいた。」との感謝の言葉、また、各議員からも、東日本大震災後に黒石市民から受けた数々の熱きご支援のお礼の言葉と、来年の黒石市での交流会開催を約束し、帰黒しました。

編集後記

議会だよりも第3号の発行になりました。市民の方々に愛読されているか少しばかりまだ不安がありますが、今後も市民の皆様へ議会活動の内容をお知らせして参ります。またご要望等がありましたら議会事務局までお寄せください。

さて、今議会は決算議会ということで平成24年度一般会計決算は歳入歳出差し引きで3・6億円余の黒字となっておりますが、2年連続の豪雪で基金の取り崩しがありましたので基金残は減っております。また、地球温暖化等による各地での大きな災害が発生しております。本市にも多大な被害が及んでおります。その様なことから災害に強いまちづくりや、基金の確保は必要不可欠と思われ、我々市民の安心・安全のために、我々議員も一致協力し努力していく所存であります。

最後に今年、暖冬・少雪で終わることを願っております。

佐々木 隆

議会だより編集委員会

- 委員長 大溝 雅昭
- 副委員長 佐々木 隆
- 委員 工藤 禎子
- 委員 工藤 禎子
- 委員 今井 和子
- 委員 黒石 ナナ子

お問い合わせ先

黒石市議会事務局

〒036-0396 黒石市大字市ノ町11番地1号
電話 0172-1521212
FAX 0172-15317410